

令和3年度 第2回 和光市立広沢小学校学校運営協議会 議事録

令和3年9月●●日

【日時・場所】 令和3年9月17日（金）18:00 広沢小学校会議室及びZoom

【参加者】 9名

難波 京子（元本校職員）／ 木村 睦（広沢学童クラブ主任支援員）
森江 宏美（民生委員）／ 高野 乃輔（和光官舎自治会長）
中山 弘（2030 VISION Project 代表）／ 塚本 拓（和光市社会福祉協議会）
山崎 雄一（保護者の会会長）／ 田中 とみ子（保護者の会 学校運営協議会担当）
鶴川 美智子（保護者の会副会長（元会長））※Zoomによる参加
辻 英一（校長）／ 對馬 秀樹（教頭）

【会議概要】

1 学校長あいさつ・2学期当初の学校の様子について

- 分散登校、およびICT活用によるオンライン学習による2学期のスタート
- 広沢小学校を利用するスポーツ団体による除草作業、地域の方による花壇整備
- プールの取壊しに伴う校庭改修工事

《委員から》

- この状況の中、子供たち、保護者みんな頑張って対応していた。特に先生方が対面とオンラインと難しい状況の中とてもよくやってくれていた。
- オンライン授業は、やってみていろいろと見えてきた。発達段階によって必要なスキルもあり、高学年では高度なスキルも要求されてくるのが分かった。
- 情報リテラシー、不登校対応への活用等、現状や課題への対応は、保護者との相談によるアジャストも必要となってくる。

2 協 議

- 地域の方々による学校支援（安全・安心、学習、環境整備等）の充実
- 地域とのつながり、地域づくりについて（地区社会福祉協議会、近隣施設等とのつながり、防災関係）

《委員から》

- 学校応援団の活動・組織の充実が必要だが、この地区での組織の拡充や取組の充実はなかなか難しい。
- 防災は重要なテーマ。誰しも興味・関心があるので、そのことを確認し、情報発信することは必要。
- 大鍋会は今年度も難しいが、避難等の確認の集まりは必要ではないか。
- そのことをきっかけに、地域とのつながりをつくっていききたい。
- コミュニティ・スクールを核とした地域とのつながりをつくることで、地域学校協働活動につながっていく。
- 保護者や地域の方々と教職員とが話し合うのはいいが、テーマや内容をしっかりと準備しないと、話し合いの充実は難しい。

【次回の開催予定】 令和3年10月30日（土）

【次回の議題】 「これからの広沢小学校や子供たちの将来について（仮）」
※ 教職員と運営協議会委員の交流

以 上